



2022.10.30

# ニリンソウ自生地 保護活動情報

赤塚公園ニリンソウを守る会

[akatsukanironso@gmail.com](mailto:akatsukanironso@gmail.com)

都立赤塚公園  
サービスセンター  
03-3938-5715

編集責任：運営サポーター／木村



Since 1982 ニリンソウ保護活動 40周年

## 赤塚公園ニリンソウを守る会 活動予定

<11~12月の日程>

11/13 (日)、11/20 (日)、11/27 (日)

※11月の雨天予備日 12/11 (日)

12/18 (日) ※12月の雨天予備日 12/25 (日)

いずれも 10:00~ 大門観察台集合 11/30 終了予定

※雨天の場合は小雨でも中止、予備日に繰り下げ

★ニリンソウを守る会は大門地区のニリンソウ自生地などの手入れ活動を行っています。参加者個々人の自主活動の集まりで、誰でも参加できます。

※問合せ：左記赤塚公園サービスセンターへ

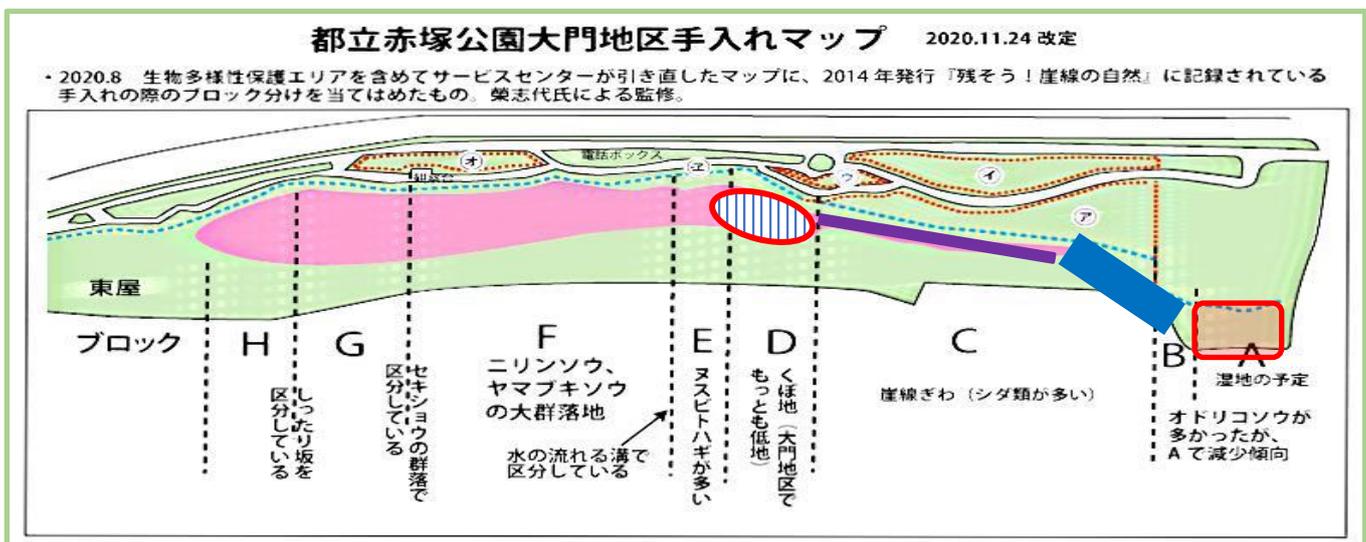
## やっぱりまだら紅葉の今年の秋



←中央地区噴水の周りを囲んでいるカツラがきれいに色づきました。その手前、真ん中の道の両側に並んでいるイチョウは左側は黄葉進行中ですが、右側はまだ青々としています。樹の上空にさえぎるものがないところでは早朝の放射冷却で降りてきた冷たい空気が直接木の葉に当たるので黄葉が進むのですが、右側のイチョウ並木の奥には大きな樹木が茂っているため冷気は妨げられて、黄葉もゆっくりやってくるのです。寒くなったと思ったら暖かい日が戻ってくる近年の「異常気象」の影響もあります。

## 秋の草刈りニリンソウ群生地に着手

10/30のニリンソウ自生地保護活動は16名の参加で、下図マップの赤枠縦線部分の草刈りを行いました。(紫色塗りつぶし部分は作業終了、緑部分はサービスセンター担当部分です。)



草刈り前 ↓



↓ 草刈り後



ニリンソウの大群落が始まるいちばん東の端がDブロックですが、草刈り前はまだ夏草が残っていました。でも、ほとんどの多年草は実を付けて種子を落とした後だったので、刈り取っても死に絶えてしまうことはありません。

ただし、このエリアでは希少と言えるいくつかの種は残しました。事前にマーキングした種は**ミズタマソウ**（希少=上右の写真の手前看板のこちら側と擬木の下）、**イヌショウマ**（開花期が12月まで=同じ写真の左奥）ですが、作業中に草むらの中から姿を現して「こんなものが生えてたよ」と「発見」して残した種もあります。下の左写真は**ナルコユリ**。この2、



3年姿が見えませんでした。他の草の中で生きていてくれました。右は**ガガイモ**。大門地区では2年前に発見、今年初めて花が咲いたもの。

上の草刈り直後の写真では茶色の地面の地肌が露出していますが、秋が深まって落葉樹の葉が落ちると、厳冬期でも地面が凍らないよう「毛布」の代わりになってニリンソウなどの春の植物が育ってきます。また、ウバユリの枯れ残りが目立ちますが、これは殺風景な冬の林に風情を残すため意図的に残したものです。さて、**ニリンソウ**はというと.. →



地面のごく浅いところで、ほんのちよっぴりと白い葉茎の先を出している根茎を見つけました。

## 素人でも、集団での手作業がよい！

最近の草刈り作業は、参加者の負担にならないように10:00開始で、途中休憩（左の写真）を挟んで1時間半限定、11:30ごろには解散するようにしています。

それでも、多くの人に参加することで、事前の調査で見逃した種を見つけられるなど良い効果が出ています。



**参加者募集中！** ※問合せ：赤塚公園サービスセンター 03-3938-5715